

1. 学校経営の基盤

北九州市立学校教育の目標

【思いやりの心をもつ、自律した子どもを育む】

- 自分の可能性を信じ、夢や希望をもつ子ども
- 自分の力でやり遂げ、自立する力をもつ子ども
- 思いやりの心を持ち、行動できる子ども

本年度の教育委員会のテーマ

SDG s の視点を生かしたシビックプライドの醸成
～誰一人取り残さない教育～

※北九州市教育大綱・北九州市子どもの未来をひらく教育プランより

平成31年度「指導の重点」の基本方針（北九州市教育委員会）ダイジェスト版抜粋

平成31年度「指導の重点」では、全市的な学校教育の目標として、「一人一人に『生きる力』を育む学校教育の創造」を掲げている。これらのことを実現するため重点化すべき項目として「信頼される学校・園づくり」「心の育ちの推進」「確かな学力の向上」「健やかな体の育成」など、本年度も「10の重点項目」を示している。中でも、今まで以上に「一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育」の充実が各学校に求められている。これらのことを踏まえ、「一時間一時間の授業の中に、教育のすべてがある。」ということのを再認識し、すべての子どもが分かる・できる喜びを味わう主体的・対話的で深い学びの実現に努めていくこととする。

2. 学校経営の方針

北九州市立北方小学校 学校教育目標

新しい時代を拓く心豊かで たくましい 子どもの育成

「めざす子ども像」

- あいさつができる子ども
 - いのちを大切にできる子ども
 - うんどう、健康、元気な子ども
 - えがおで過ごす子ども
 - おもいやりのある子ども
- （北方っ子のあ・い・う・え・お）

「めざす学校像」

- 信頼のおける学校
 - ・ 信頼できる教育活動、授業、先生、組織
- （きれいな学校、たのしい学校
がんばる学校、たすけあう学校）

「めざす教師像」

- 愛情と情熱にあふれる教師
- 子どもの力を伸ばすため、授業を大切にする教師
- 人権感覚や豊かな感性を兼ね備えた教師
- 子どもと共に遊び、働き、語り、汗や涙を流す教師
- 自己の実践を振り返り、厳しく自己評価する教師
- 保護者から信頼され、子どもから尊敬される教師
- 協働の精神で自分のよさを伸ばす教師（チーム北方）

本年度の北方小学校のテーマ

～小さな成功への褒め言葉による「北方っ子プライド」の醸成～
～全職員の協働のもと、落ち着いた学習環境の構築～